

教育ひので

平成 25 年 11 月 15 日発行
第 119 回

発行 日の出町教育委員会
〒190-0192 西多摩郡日の出町平井 2780
年 4 回発行 (5, 8, 11, 2 月)
電話 042-597-0511



大久野小学校の 校庭が芝生に！

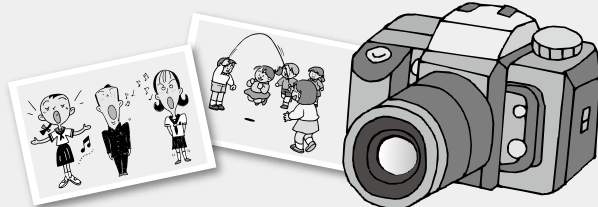
芝刈機の操作説明を受ける大久野
グリーンネットワークの皆さん

子どもたちが、のびのびと思い切り体を動かし、けがも少なく、積極的にチャレンジする意欲が身につくことを望みます。

学校イベントなどにも工夫がなされ、子どもたちと地域の方たちとの繋がりがより深いものになると期待しています。

また、芝生の維持には、学校・保護者・地域・校庭利用者団体などで構成する大久野グリーンネットワークの皆さんにより、子どもたちが良い環境で育めるように管理をしていただきます。

学校 スナック



本宿小学校

青梅市で生まれた室内楽団『アンサンブル・プラムス』による「音楽の贈りもの」が、10月23日に行われました。公益財団法人青梅佐藤財団・NPO法人青梅の青少年を育てる会のコーディネートによるもので、ジブリメロディーや校歌などを演奏してくださいました。

生演奏によるヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・フルート・ピアノの柔らかな音色を、直接体験できる素晴らしい機会となりました。



大久野小学校

10月17日(木)に、恒例のブロック山登りを行いました。台風一過の青空の下、今年度は、大久野フジ、三嶋神社を回るコースを、たてわりのブロックごとに、ゲームやクイズをしながら楽しく歩きました。校庭でのゲームは、芝生化工事が完了した緑の校庭で、とても楽しそうにのびのびとやっている姿が印象的でした。各ブロックのリーダーだけでなく、司会進行、ゲームの説明などを行った、代表委員の児童の活躍も光っていました。

大久野中小学校

10月1〜3日に2泊3日の日程で京都・奈良方面に修学旅行を実施しました。1日目は奈良(クラス行動)、2日目は京都(班行動)、3日目は京都タクシー行動という忙しいスケジュールでした。生徒も初めての場所ですら立てた計画を予定通り実行することの難しさと、やり遂げた時の充実感を味わうことができ、思い出に残る3日間となりました。

10月17日(木)に、恒例のブロック山登りを行いました。台風一過の青空の下、今年度は、大久野フジ、三嶋神社を回るコースを、たてわりのブロックごとに、ゲームやクイズをしながら楽しく歩きました。校庭でのゲームは、芝生化工事が完了した緑の校庭で、とても楽しそうにのびのびとやっている姿が印象的でした。各ブロックのリーダーだけでなく、司会進行、ゲームの説明などを行った、代表委員の児童の活躍も光っていました。



平井小学校

平井小学校には、1年生から6年生まで約12人のたてわり班、平井フレンズが28班あります。児童は、平井フレンズ遊び、うら山オリエンテeringなどの行事を通して、みんなで仲良く遊んだり互いに協力して取り組んだりする学年の枠をこえた仲間作りを楽しんでいます。



平井中学校

10月18日(金)に、秋川キララホールで第44回音楽会が開催されました。当日は、平井小、本宿小の6年生を含め多くの保護者、来賓、地域の方々にもご来場いただきました。どのクラスも団結し、すばらしい合唱を聴かせてくれました。そして、最優秀賞の3Cの生徒たちは、午後に行われた東京混声合唱団の鑑賞会では課題曲を合唱団と合同で披露しました。





大久野中学校 女子バレーボール部

大久野中女子バレーボール部は、3年生1名、2年生3名、1年生5名の計9名で活動しています。練習は朝練習も含めると、ほぼ毎日のように活動をしています。

例年、大中バレー部はバレーボール未経験者がほとんどで、現在のチームも「中学校で初めてバレーボールをする」という人だけで構成されています。しかし、そのようなハンデを乗り越えるように、毎日厳しい練習にも取り組んでいます。時には互いの良いプレーを称え合い、時には厳しく注意し合いながら、日々技術面だけでなく精神面も高め合っています。



大久野中学校「バレーボール部」

7月には、3年生が引退し新チームに切り替わりました。長年、1学年ではチームを作ることができず、なかなか勝つことができなかった私たちですが、ついに先日行われた第8ブロックの新人大会で目標としていた準決勝リーグに勝ち進

むことができました。現在、勝った喜びをそのままに、決勝リーグ出場という新たな目標に向けて、さらに練習に励んでいるところです。「限られた時間の中で、や

るからには全力でプレーをしよう！」そんなスローガンを掲げながら毎日頑張っている大久野中女子バレーボール部の今後の活躍にぜひ期待して下さい。

平井中学校 女子ソフトテニス部

私たち平井中女子ソフトテニス部は、2年生9名、1年生4名の計13名で活動しています。私達は「都大会に行く」という目標に向かって、外部コーチのもと日々練習を行っています。コーチは週に1日しか来られないので、普段の練習は部員の皆で協力し合い頑張っています。夏に比べて

2年生が中心となり、時間を大切にし練習をしています。今年は部員が4人増えました。新メンバーとともに、新しい気持ちで都大会に向けて、頑張っていきたいと思っています。

日がおちるのが早くなり、練習時間も減っていますが、決められた時間の中で練習メニューを一つ一つ集中して、丁寧に練習していきます。練習時間が多くとれた日は、



平井中学校「ソフトテニス部」

平井中学校 吹奏楽部

私たち平井中学校吹奏楽部は、2年生10人、1年生11人、計21人で毎日楽しく活動しています。今年の夏には、3年生を含む27人で、鈴木先生の指揮、そしてたくさんの応援のもと、東京都吹奏楽コンクールB組で悲願の金賞をいただくことができました。

ただで演奏する機会も増えてきました。まだまだ未熟な演奏ですが、一生懸命練習に励み、地域のイベントなどで楽しいステージをお届けしたいと思っています。いつも支えてくださる地域のみなさん、保護者の方々への感謝の気持ちを音楽にのせ、これからも皆さんを笑顔にしていきたいです。



平井中学校「吹奏楽部」
金賞を受賞（東京都吹奏楽コンクールB組）

大久野小学校に 通級指導学級を開設します

日の出町教育委員会では、通級指導学級について、平成 26 年度に大久野小学校に開設する準備を進めています。

現在町内に設置されている通級指導学級一覧

平井小学校 『コミュニケーションの学級・まなぼ』

大久野中学校 『通級指導学級』

本宿小学校 『コミュニケーションの学級・ステップ!』

平井中学校 『通級指導学級』



通級指導学級とは?

通常の学級に在籍したまま、週に 1～2 回程度（週 8 時間以内）通う学級です。通級指導学級では、個別や小集団でゆっくり・じっくり、本人が「わかった!」と実感できる方法で学習し、得意なことを伸ばし、苦手なことに対処する方法を知ります。さらにこれを通し、安心感や自信をもって学校生活を送り、社会でしっかり生きていく力を身に付けることを目指します。課題が改善されれば、学校と相談して通級は終了となります。

対象となる児童生徒は?

誰にでも得意なことと苦手なことがあります。中には得意と苦手の違いが大きく、そのアンバランスさから学校生活への適応に苦労している児童生徒もいます。下の例にあるような苦手さがあり、その改善のために保護者が通級指導学級への入級を希望され、就学相談委員会において通級指導学級における指導を受けることが適切であると判断された児童生徒が対象となります。

苦手なことの例

「コミュニケーション」の苦手さ

- ・友達づきあいや集団行動がうまくできず、困っている。
- ・上手に自分の思いを表現できず、友達とうまくコミュニケーションをとりにくい。
- ・特定のモノや場所などをこわがり（あるいはこだわり）、周りが困ってしまうことがある。

※「ADHD(注意欠如・多動性障害)」、「高機能広汎性発達障害」「LD(学習障害)」等の発達障害の診断を受けている児童生徒も対象となります。

「注意」の苦手さ

- ・人の話に注意を向けたり、長時間続けて集中したりすることが苦手である。
- ・カッとなりやすかったり、思いついたらすぐ行動に移してしまったりして、叱られたり誤解されたりすることがある。
- ・片付けが苦手、なくし物や忘れ物が多い。

- ・努力して学習しているのに、ある分野の勉強がとても苦手で悩んでいる。
- (文章題や図形問題が苦手／感想文の書き方がわからない／漢字や英単語が覚えにくい、など)

「特定の学習」の苦手さ

自分の考えや気持ちをうまく表せるようになりたいんだ。
友達づきあいが今より上手になって、らくちんになれたらいいな。

このような児童生徒の思いを応援し、一緒に考えていきます。

「わかった!」って思える勉強がしたいな。自分にあった勉強方法を知りたいわ。

自分の得意なことを知って、自信がもてるようになりたいんだ。苦手なことをカバーする方法を知りたいよ。

入級の手続き

現在小学校に在籍されている方は在籍校に、新しく小学校に入学される方は教育委員会学校教育課に申し込んでいただきます。お申し込み後、入級相談、就学相談委員会での審議を経て、入級が決定されます。まずは、担任の先生へ、新 1 年生の方は下記までご相談ください。

参考 現在、東京都教育委員会では通級指導の在り方を見直す「特別支援教室構想」を検討しており、平成 28 年度以降に実施される予定です。この構想では、地域の拠点校に通級指導担当教員が配置され、各学校に作った特別支援教室を巡回して指導を行うことになり、現在の通級指導学級とは違う形での教育支援が始まることとなります。

問い合わせ：日の出町教育委員会 学校教育課 指導・学務係 042(597)0511(内線 536)

憩いの場として

「天高く馬肥ゆる秋」食べ物のおいしい季節ですが、又本を手につくり秋の夜長を楽しむ時節でもあります。日の出町の図書館は町民の皆様に支えられ日々活動をしています。

今回その一つを紹介しましょう。皆さんお気づきですか？ 図書館前のホールや外に、青々と生きいきとした植木が置かれているのを？！ 定期的に交換してくださる方がいます。緑いっぱいの日の出町ですが、図書館も緑いっぱいでホッとします。また読み終えた新刊本を寄贈してくださる方もいたり、冷たい風が吹き始めた今日この頃ですが、ホッコリとした気持ちになります。そんな図書館にお出かけください。職員一同お待ちしております。

幼児のおはなし会10000回突破！

木曜日の10時30分から幼児向けの「おはなし会」をやっています。おかげさまで、幼児のおはなし会も今年の3月で10000回を迎えることができました。

一番初めに来たときには3、4ヶ月だった赤ちゃんがお座りができるようになり、ハイハイができるようになり、歩くことができるようになり、今ではもう

中学生なんてこともあります！ そんな子どもたちの成長を見てみると、とても感慨深いものがあります。子どもの成長とともに、この図書館のおはなし会も育ってきました。

最近はおくさんの親子連れを迎え、じゅうたんのお話会コーナーが所狭しとなることもあります。

最初は慣れないこともありウロウロということがあります、回を重ねるごとにお母さんのひざの上で落ち着いて聞けるようになります。子どもを本好きにしてあげるとは、大きな財産を残すことになります。

手遊びあり、絵本ありと楽しいひと時です。一度のぞいてみてください。

火曜日の15時30分（分室）、水曜日の15時30分（本館）の児童向けのおはなし会も10月で1114回、幼児のおはなし会も10月で1032回と続いています。これからも、子どもたちと共に歩んでいきたいと思えますので、よろしくお願いたします。



職場体験の実施(9月12日・13日)!

大久野中学校の2年生が職場体験の場として、図書館を選んでくれました。

2日間の日程で、いろんな仕事を体験してもらいました。

本を借りたり、調べ物をしたりする図書館として考えていた時と、実際仕事をしてみた図書館とは、少しギャップがあったのではないのでしょうか。一生懸命に取り組んでくれ、カウンターでの本の貸出返却、慣れない書架への本の返却、端末での本の検索、参考図書を探したりと、盛り沢山のメニューに大変だったと思います。でも、カウンターでの本の貸出返却は緊張するなかにも、楽しく取り



組んでくれたように思います。保育園のお話し会に同行した時は、子どもたちはいつもと違うお兄ちゃんお姉ちゃんが出来たと大興奮でした。お気に入りの本の紹介では、びっくりする位的確に本の紹介文を書いてくれました。この体験が今後の進路や人生に役立ててくれれば嬉しいです。

教育委員会 会議報告

9月

10月

第8回 定例会（9月18日）

◎委員長の選出について

教育委員会委員長は、濱松裕子氏が再任されました。
（任期 平成25年10月1日から平成26年9月30日）

◎委員長職務代理者の指定について

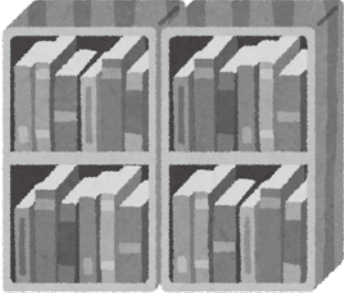
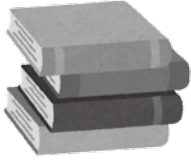
委員長職務代理者は、大串國廣氏が再任されました。
（任期 平成25年10月1日から平成26年9月30日）

◎議案……承認

- 一、日の出町立図書館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則
- 一、平成26年度使用日の出町公立小学校特別支援学級教科用図書の採択について
- 一、平成26年度使用日の出町公立中学校特別支援学級教科用図書の採択について

第9回 定例会（10月25日）

付議案件 なし



「第68回国民体育大会日の出町サッカー競技会」を開催しました!

日の出町サッカー競技が9月30日（月）・10月1日（火）に国体女子サッカーの1回戦と準々決勝の合計5試合が「スポーツと文化の森・谷戸沢サッカー場」において、熱戦が繰り広げられました。会場には、大会関係者を含めて、2日間で延べ約3,200人の方々が訪れました。

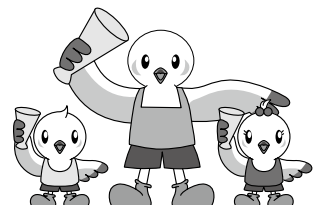
大会当日は、町内の5つの小中学校の生徒が2日間に、757名が会場を訪れ、トップアスリートの華麗なテクニクを間近で観戦し、身乗り出し、選手に声援を送りました。

また、会場のおもてなし広場では、日の出町B級グルメの「ひので赤いうどん」「ひの出完熟トマトカレー」や、とん汁、飲料水などが振舞われたほか、東日本大震災復興支援として、宮城県山元町産のりんごの販売などが行われました。

更に、日の出町舞踊連盟による「ゆりーと音頭」や東京カペラと大久野幼児園のコラボによる「ゆりーとダンス」の歓迎行事が行われました。

また、東京たま広域資源循環組合からのゲストとして、「ガチャピンとムック」が応援に駆けつけ、「ゆりーと」と共に選手が入場する際にエスコートを務め、会場を大いに盛り上げました。

皆様の温かいご声援とご協力ありがとうございました。



スポーツ祭東京2013日の出町実行委員会
電話 042(597)0511